【規程番号　神女院Ｖ－015】

修士・博士論文の形式に関する申し合わせ

１．用語

・英文または和文

２．書式

・Ａ4判、縦位置、横書きとし、上下3.5cm、左3.5cm、右2.5㎝の余白を設ける。

・英文の活字は、12ポイント、Timesとする。和文の活字は、10.5ポイント、明朝体とする。

・タイトル、目次、要約、本文、文献の順にまとめる。図・表は、必要な箇所に挿入する。

・和文論文においても表及び図の説明は、原則としてすべて英語で記載する。博士論文の場合、和文論文の場合には英文要旨を付ける。

・枚数は問わないが、以下の内容で論文をまとめる。

（1）博士前期課程（修士論文）

・専門学術雑誌に掲載された第1著者としての原著論文であることが望ましいが、申請者が専門学会等で1回以上発表、あるいは当該年度末までに発表予定の新たな知見と創造性が認められる内容をまとめる。

（2）博士後期課程（博士論文）

・査読付き雑誌に掲載、あるいは掲載予定の原著論文1編以上を中心に大学院在学中の仕事をまとめる。

・研究の背景と目的を専門外の教員にも理解できるように書き、新たな知見を加え、当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て、そこに創造性が認められるものとする。

３．用語及び単位

・新仮名遣いを用い、人名は原語、薬品名は一般名で表記することが望ましい。

・略語を用いる場合には初出時に必ず full spell を示すこと。度量衡には mm, mg, ml, mol 等の Sl unit を用いること（ただし、必ずしもモル濃度で表記する必要はなく、慣用の mg/dl 等でもよい）。

４．文献の記載方法

・文献は重要なもののみにとどめ、本文中の引用箇所に順次番号をつけ、本文の末尾に一括して、初出順に次のように列記する。

（1）欧文誌も和文誌も、著者名（姓名の順）、論文タイトル、誌名、巻、論文の起始頁－最終頁、西暦発行年号の順に記す。

（2）著者が4名以上の時は、3名までを記載し、それ以上は「～他」あるいは「～et al」として省略する。

（3）雑誌名は Index Medicus に準拠した略名を用い、和文誌には略名を用いない。

（Index Medicus - abbreviations of journal titles;
http://www2.bg.am.poznan.pl/czasopisma/medicus.php?lang=eng）。

（4）単行本の場合は著者名、論文タイトル、書名、版数、編集者名、発行所、発行地、発行年、引用頁（起始頁－最終頁）の順に記す。

［例］

(1) Iwata E,Hotta H,Goto M: The screening method of a bifidogenic dietary fiber extracted from inedible parts of vegetables. J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo) 55:385-388,2009.

(2) Miyamoto H,Umemura M,Aoyagi T,et al: Structural reorganization of molecular sheets derived from cellulose Ⅱ by molecular dynamics simulations. Carbohydr Res 344:1085-1094,2009.

(3) 土江節子：栄養評価の指標と基準値－食事調査。病態栄養ガイドブック第1版、日本病態栄養学会編，メディカルビュー社，大阪，2002，123－127.